

地域おこし協力隊配置要望書

地域
の
目
標

蒲生集落は、新潟県十日町市の中山間地に位置し、豪雪地帯ならではの豊かな自然と、先人が築いてきた美しい棚田景観が広がる地域です。中でも「蒲生の棚田」は国のつなぐ棚田遺産にも登録されており、春の水鏡や秋の稲穂など、四季折々の風景が訪れる人の心を打ちます。

このような風景資源に加え、近年では「棚田ステーション」や「MURA PUB」といった交流・滞在拠点が整備され、都市と里山をつなぐ新たなハブとしての役割も担い始めています。また、移住者による起業やプロジェクトも芽吹きつつあり、地域資源を活かした多様な活動のフィールドが広がっています。特に、子育て世代の複数世帯が移住してきたことで、多世代交流の面でも明るい兆しが見え始めており、「人の流れが戻りつつある集落」としての希望も感じられます。

しかし一方で、高齢化による集落機能の維持や伝統行事の継承、生活支援、インフラ維持など、日常の営みを担う人手は慢性的に不足しており、これまで集落を支えてきた高齢世代の負担が大きくなっています。

そこで、地域おこし協力隊には以下のような役割を期待します。

- ・ 地域内の交流・営み・風景・文化を次世代につなぐ「橋渡し役」
- ・ 外からの人材・資源との接点を生み出し、持続的な関係人口を育む「つなぎ手」
- ・ 地域資源を活かした新たな仕事・関係・価値の創出に取り組む「実践者」

「守るだけでなく、育て、つないでいく」ことを目標に、地域とともに未来を描いていける協力隊の参画を心から願っています。

隊
員
に
し
て
欲
し
い
仕
事

【全隊員共通の活動】

◆地区との関係づくり

- ・ 道普請のほか、各種集落行事に参加すること
- ・ 地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること
- ・ 地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること

【飛渡地区の活動支援】

	目標（地区の将来像）	今、協力隊がやるべきこと	活動比率
1	集落機能の維持と暮らしの支援	<p>高齢化が進行する中で、除雪・道普請・地域行事といった集落の基盤を支える活動の担い手が不足しています。協力隊には、地域住民とともに汗をかきながら、日々の営みを継続可能なかたちで支えていく役割を担っていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 区長業務をはじめとした蒲生区の運営サポート・ 除雪団体「安心づくりの会」と連携した冬期の除雪対応支援・ 高齢者向けの健康づくり活動（健骨体操など）の開催支援・ 春・夏の道普請、草刈りなどの共同作業への参加・ その他、地域住民のニーズに応じ区や世話人が認めた業務	60%

	2	地域資源を活かした交流促進と経済活性化	<p>蒲生集落の地域資源である棚田や大地の芸術祭など、里山の資源は都市との接点を生む装置です。協力隊には、これらを活用した都市住民との交流の場づくりや、地域経済への還元に向けた取り組みを推進していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蒲生の棚田を守る会」や「蒲生集落協定」の運営支援・事務局業務 ・芸術祭・トレイルランニング等イベント時の外部対応窓口、受け入れ体制づくり ・棚田米や加工品など、地域特産品の販路開拓や情報発信のサポート 	20%
	3	空き家利活用・移住相談など地域内外の人材の呼び込み	<p>移住者の受け入れや空き家の活用は、集落の将来に直結する重要なテーマです。協力隊には、外からの人と地域をつなぐ「よそ者と地元の橋渡し役」として、関係性の構築を担っていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の現地確認・情報整備・利活用に向けた地域内外との調整業務 ・移住希望者との面談や地域案内、受け入れ体制の整備 ・地域支援員や移住コンシェルジュとの連携による継続的なフォロー体制の構築 	20%
	<p>【その他の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人から地区で暮らすための技術を学ぶこと（豪雪地での暮らし方、山間地での暮らし方、など） 			
	<p>理想の隊員像</p> <ul style="list-style-type: none"> □向いている人柄、必要なスキル ●地域住民との交流を心から楽しめる人 ●自ら課題を発見し、柔軟に調整・提案・実行できる行動力のある人 ●力仕事や農作業にも意欲的に取り組める体力のある人 ●里山での子育てや自然の中での暮らしに価値を感じられる人（家族での移住も歓迎） ●日本の原風景と文化を次世代につなぐ意志がある人 ●地域の営みに根差し、PR・企画・SNS発信なども含めた多様なスキルを活かせる人 			

移住者が続々と集まる雪国の集落で、
“自分らしい暮らし”を始めよう

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要
第1期	4月	◎ お花見 ・ 公民館の清掃 ・ 会場設営や後片付けの補助 ◎ 春の総会 ・ 公民館の清掃、設営サポート ・ 議事録作成や記録サポート ◎ 秋葉様（神社の春祀り）
	5月	◎ 春の道普請 ・ 自班に加え人数不足の班にも積極的に参加する ・ 弁当配布サポート
	6月	◎ 桜の森草刈り ・ 駐車スペースの事前草刈り
第2期	7月	
	8月	◎ 夏の道普請 ・ 自班に加え人数不足の班にも積極的に参加する ・ 弁当配布サポート ◎ 盆踊り ・ やぐら組み立て、会場設営、片付け ・ 若者や外部参加者の誘致、運営補助 ・ 写真・映像での記録、PR コンテンツ化 ◎ しめ縄飾り用すげ刈り ・ 刈ったすげを保管
	9月	◎ 秋祭り ・ ぼんぼり設置サポート
第3期	10月	
	11月	◎ 秋の総会 ・ 公民館の清掃、設営サポート

	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録作成や記録サポート ◎ はめ板取り付け <ul style="list-style-type: none"> ・公民館など公共施設の雪囲い ◎ 安心作りの会除雪作業（～3 月） <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションの前など、集落の生活道路を中心とした除雪（早朝および適宜日中） ◎ しめ縄作り <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、PR にも活かす
第 4 期	1 月	◎ 新年会 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の清掃、会場設営 ◎ 塞の神 <ul style="list-style-type: none"> ・竹の切り出し、どんど焼きの組み立て
	2 月	
	3 月	
		◎ 松代冬の陣 <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営補助（雪遊び体験や飲食提供の調整） ・都市部との交流イベントとしての広報 ◎ 団子まき <ul style="list-style-type: none"> ・準備・進行補助 ・地域文化としての記録・発信